

米軍・Xバンドレーダーの搬入強行に抗議する

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪義由紀

本日未明、京丹後市経ヶ岬の米軍レーダー基地にXバンドレーダー本体が搬入された。米軍は22日にも同基地で米陸軍第14ミサイル防衛中隊の発足式を予定しており、12月からの本格運用に向けて事態は重大な局面を迎えた。わが議員団は、同基地へのレーダー搬入に強く抗議するものである。

搬入にあたって米軍は、保安上の理由から時期や方法について一切明らかにせず、石川県小松基地から一般道を交通規制して厳重な警備の下、夜陰に乗じて搬入したものである。これまで同レーダー基地建設をめぐるっては、様々な疑問や不安をいなく住民に十分な説明がなされず、昨年開催された防衛省と京丹後市、京都府との協議でも内容が非公開とされるなど、秘密裏に建設が進められる事態となっている。山陰海岸ジオパークの自然景観の破壊やドクターヘリの飛行禁止問題、米軍人・軍属による交通事故や犯罪の不安など問題が噴出している。今回のレーダー本体の搬入強行は、住民の疑問や不安に真摯に向き合わずに軍事優先で建設強行し、レーダーを運用するという強権的な姿勢を示したものである。

わが議員団は、このレーダー基地がアメリカの戦争に日本国民を巻き込む、集団的自衛権行使の最前線基地となるものである、とその危険性を指摘し、建設工事の中止を京都府に繰り返し申し入れてきた。沖縄県辺野古での新基地建設への県民あがての反対など、米軍基地建設反対の声は大きく広がっている。そうしたもとでの、今回の搬入強行は断じて許されない。京都府がただちにXバンドレーダー本体の撤去、基地建設の中止を米軍と防衛省に対して申し入れることを強く求めるものである。

以上